

令和5年度 障害者福祉センター 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和4年度

施設のサービス水準の視点コメント

新型コロナウイルスが依然流行している状況ではあったが、生活介護の利用延べ人数は昨年度に比べて日平均において1.5名の増加となった。また、新型コロナウイルスにより自粛されている利用者への定期訪問、不定期利用を促して利用日数の増加に繋がったことや新規利用者を4名受け入れることができた。利用者へのアンケートでも「施設の利用のしやすさ」や「職員の対応・態度」について85%の利用者が満足と回答しており、利用者に寄り添ったサービス提供ができていると評価する。

収支状況 コメント

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるコロナ休業補償や有資格者の増員による人件費の増加、感染対策強化に伴う経費、リモート環境整備等による通信費の増加により赤字となったが、定期自宅訪問や不定期利用の促し、新規利用者の獲得等の取り組みの結果、最終的な事業収入は前年度に比べると増大したことは評価できる。
経費削減や送迎車両の事故防止等に努め、今後、収支改善されることに期待する。

感染症対策 コメント

5月にクラスターが発生し、生活介護・放課後デイサービス共に利用数の低下に繋がった。その後の対応として一介助二手洗いや消毒の徹底に加え、拭き取れるマットを買い足したり、食事介助や口腔ケアの際にフェイスシールドだけでなくガウンを着て対応する等の新たな環境整備を実施していた。また、イベントについては実施制限はあったものの、感染対策を十分に行い、昨年よりも内容を深めたレクリエーションを行うことができていた。昨年度は実施できていなかった家族参加型のイベントや家族交流会も実施することができており、利用者や家族が楽しめるイベントを行えたことについて評価する。

市による総合評価 コメント

今年度も送迎車両の物損事故があり、指定管理者の過失によるものが3回あった。利用者の送迎に関してさらなる安全運転の徹底や研修等での運転技術の向上を求める。
当指定管理者は、利用者やその家族のニーズ把握に努めるためにアンケート調査を実施しており、調査結果では85%の利用者が「施設の利用のしやすさ」や「職員の対応・態度」について大変満足、やや満足と答えている。また、今年度は感染対策を行いながら家族参加型のイベントや家族交流会を実施し、利用者や家族から喜びの声をいただいております、利用者に寄り添った運営ができている点について評価する。
また、障がい者の高齢化等により障がい程度の重度化に対応すべく、職員研修や個人情報保護のために行う月に1度のミーティング等を通じ、職員同士の情報共有を図っている。今後においても職員体制を強化し、障がい児（者）が適切な支援を受けることが可能となる事業運営・展開を期待する。その他に、地域の障がい児（者）施設では受入れが難しい医療的ケアが必要な障がい児（者）や重症心身障がい児（者）を率先して受入れており、今後もサービス向上や重症心身障がい児（者）の生活を守る役割を期待する。
以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおりに施設運営されていると判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった